



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〜第一六二号〜

白露はくろ

九月七日



## おかげ座 神話の館

おかげ横丁に新しくお目見えしたおかげ座「神話の館」。第六十二回の式年遷宮を記念して、おかげ座を全面改修して新生しました。おかげ座も二十年を経て、一新です。

テーマは日本神話。『古事記』『日本書紀』、そして各地の風土記をさしますが、こうした神話がある国は世界でも数えるほどといえます。日本という国の始まりや神々の誕生など、遙か昔のことが描かれています。

まずは神話シアターで十七分間の映像を見ます。美しい日本の風景から始まり、神話の「国生み」から「天孫降臨」までのあらすじが次々に紹介されます。神代のころの神話の再現は大変難しいと思いますが、和紙人形やアニメーションを使い、要所でキャラクターの「赤太郎」がわかりやく説明していきます。

その後、暗い通路を通過して、原初の森をイメージした神話の森へ案内されます。先ほどの映像に登場した和紙人形が展示されています。人形を間近にすると、その質感に驚きました。使用した白い和紙にしても、真っ白から生色り色まで五段階、女神の髪の毛はよった和紙三百本から成っています。また、首飾りの勾玉や剣、鉾は金属の銅を使っていて、その金属が和紙の人形をさらに重厚に見せています。製作者は和紙彫塑家の内海清美さんです。そして、倭姫命を製作したのは伊勢在住の阿部夫美子さんです。ここでは神話の場面ごとに案内役が直に説明してくれるので、映像で見たものをじっくりと確認できます。

おかげ座「神話の館」で改めて知る、数々の物語。それがどうして日本で作られたのか、神話への興味が増しました。

文 千種清美

